

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	大空と大地のなーさりい下井草駅前園
法人名	株式会社キッズコーポレーション
法人所在地	栃木県宇都宮市中河原町3-19宇都宮セントラルビル8階

1. 活動のテーマ

<テーマ>

子ども達が主体的に活動していく中で、自分自身の経験やイメージを他者に伝え、他者の意見も取り入れようとする姿を言葉や、動作、絵や製作などで表現できるようごっこ遊びを活動のテーマとした。普段の遊びとしてのごっこ遊びが発展し、様々な素材を使いアイデアを形にしていき、自分の思いが表現できる嬉しさや達成感を子ども独自の世界観で感じていけるように設定した。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など) 当園では子ども主体の保育を日頃より実践している為、子ども達が思い描く世界観や発想を大切に、今現在夢中になっているものをより探求できるような活動を行っている。ごっこ遊びを通して、子どもたち自身が関りを考えたり、イメージを形にするには何が必要かを考えたり、形になった時の喜びを感じられていたのでごっこ遊びというテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

ごっこ遊びとおままごとが一体となった様子から、より世界観を抽出し具現化するために製作できる環境を整えたりおままごとの玩具を充実させる。農園での活動に積極的に参加したり近隣のお店への買い物を通して、子ども達の想像と現実世界のイメージを一致させより入り込めるようにする。リアルタイムで行われているオリンピックをごっこ遊びに取り入れ展開し行事に繋げる。進めていく上で担任同士進捗の共有や振り返りを行う。保護者に降園時やドキュメンテーションを通して活動の様子を伝え、行事にも取り入れ実際に表現する場を設ける。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具) おままごとコーナーの拡大と中身の充実させた。おままごと中の食料調達を本格的に再現するため、画用紙・折り紙・シール・毛糸・フェルトを用いて子ども達と一緒に畑や食材を作ったり、調理器具や実寸大の料理作りを行った。実際に農園やお店に出向くことで、イメージとのすり合わせができる環境を整えた。オリンピックに見立てた活動プログラムを取り入れ運動用品や聖火台を準備した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

初めはなりきり遊びを通して恐竜や猫に扮し、それに合わせた衣装や小道具を用意すると後に製作活動へと繋がる。遊びが発展していく中でごっこ遊びとおままごとが一体化し、子ども同士で役割を決めその役割になりきって遊びを楽しむ姿が見られるようになった。実際に農園やお店に出向く中で子ども達のイメージもより本格的なものになり、役割もお店の中だけに留まらずそれに付随する様々な仕事に興味を深める姿へも繋がっていた。最終的には年間行事の『お楽しみ会』を通してお店やさんを開き、自分たちだけでなく他クラスや保護者へも自己を表現する場を経験し、主体的に活動し表現を楽しむ姿へと繋がっていった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等) ごっこ遊びを通して、子ども達同士で役割を決めストーリーを進めていくことや、製作活動ではアイデアを出し合う中でより本格的な物を作ろうとする姿があった。保育者との会話の中で疑問や気付きを得る姿や、視野が広がり新たな興味に繋がりより深く探求へと繋がっていく様子が見られていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回の実践から子ども同士の会話や関わりから、世界がより広がったり大人も気付かされることが多々あり、普段から子どもの様子をよく観察しそのときの興味・関心に合わせて活動を計画する大切さを改めて感じることとなった。また運動会や発表会などの行事に取り入れたことで、イメージしたものを表現し伝えることで、子どもの世界を共に楽しみ味わうことができた。より探求を深めるために保育者の言葉掛けも、子どもが気付く事への導きを意識し引き続き行っていきたい。